

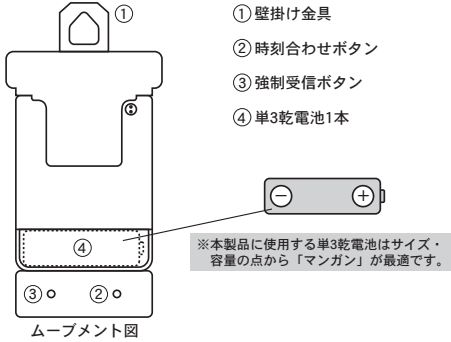
Radio Controlled Clock

電波時計の取扱説明書 ●お使いになる前に、この説明書をよくお読み下さい。●お読みになった後も、必ず保存して下さい。

海外での使用について この製品は日本国内用ですので、海外での使用には適しておりません。ご了承下さい。

各部の名称

※時計の種類により、デザイン及び部品の位置が異なる場合があります。



時計のご使用方法

※正しく時計を起動させるために、下記の順番にご注意下さい。

1 電池を入れる

単3乾電池1本を、電池ホルダーに正しく入れます。
※⊖⊕を逆に入ると、時計は動きません。

2 針が動き出し、4時、8時、12時のいずれかで止まる

電池を入ると、時針、分針、秒針の3つの針が「4時」「8時」「12時」のうち、一番近い時間（またはその次に近い時間）に向けて動きはじめます。次に、3つの針が「4時」「8時」「12時」のいずれかに停止して電波受信待機状態になります。
※受信待機中、針が止まったままになりますが故障ではありません。
※分針の静止位置が多少前後にぶれる場合がありますが、故障ではありません。

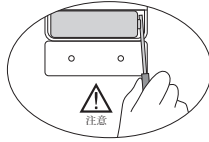
3 電波受信の結果が出るまで、3～10分間そのまま待つ

通常約3～10分間で電波受信し、針が早送りで動き出し、正確な時刻を指します。
※受信中は、ボタン類を操作しないで下さい。

■電池を交換する時

電池の凸側凸部の下に、小さなマイナスドライバーなどを差し込み、持ち上げて下さい。

⚠️ お手元にご注意下さい。



●手動で時刻を合わせる

電波受信がしずらく時刻が修正しない場合、時刻合わせボタンを押して手動で時刻を合わせて下さい。
まず**時刻合わせボタン**を約7秒間押し続けます。
時計の針（時針・分針）が早回りを始めますので、現時刻近くまで進んだらボタンからはなします。以降はボタンを1回押すごとに針が1分ごとに進むようになります。

手動で時刻を合わせる際の注意

●時計の針が早回りで動き出した後、約8秒以上何も操作をしない場合は、ボタンを1回押ししても針は1分ごとに進まなくなります。この場合は、再度時刻合わせボタンを約7秒間押し続けて針を早回らせて下さい。

●時刻合わせボタンは、時針・分針のみ合わせるためのボタンです。

電波時計について

電波時計とは

電波時計とは正確な「日本標準時」をせた標準電波を受信して、正確な時刻を表示する時計です。標準電波は通信総合研究所日本標準時グループが運用しており、標準時は「セシウムビーム型原始周波数標器」などにより制御された時刻情報は福島県おたかどや山（40 KHz）と福岡県と佐賀県の県境のはが4山（60KHz）の2カ所の電波塔から送信されており、ほぼ日本全国をカバーしております。この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが保守作業などで一時送信を中絶することもあります。

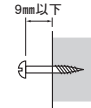
電波の受信範囲について

条件の良い時は、送信所から約1000km離れた場所まで受信することが出来ますが、気候条件、置き場所、時間帯、地形、建物によって受信出来ないことがあります。
※電波受信の可能地域はあくまでも目安です。範囲内でも電波受信が出来ない場合もあります。

① 掛け具について（掛時計の場合）

●木の厚い壁・木の柱に掛ける場合

添付の掛け具（木ネジ）をご使用下さい。
掛けネジは垂直な壁面からネジの残しが9mm以下になる様にねじ込んで、時計を確実に掛けて下さい。



●石膏ボード・コンクリート等の壁に掛ける場合

添付の掛け具（木ネジ）は使用しないで下さい。
壁の材質、構造に合った「3kg」まで耐えられる市販の掛け具（吊金具）をご使用下さい。

※掛ける場所に合わせた掛け具をご使用下さい。
（添付の掛け具は、木の壁、柱以外には使用できません。）

※掛ける時は、時計を上下左右に軽く動かし、外れないことを確認して下さい。

安全上のご注意 ※ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守って下さい。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■誤飲による事故防止について

付属部品（掛金具、ネジなど）、小形の電池（ボタン形、コイン形及び単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないで下さい。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けて下さい。

■電池について

●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明のおそれがありますので、医師の治療を受けて下さい。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流して下さい。
●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないで下さい。
●液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
●+（プラス）、-（マイナス）を逆にしないで下さい。
●新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないで下さい。
●指定された電池を使用して下さい。
●使い切った電池は速やかに取り出して下さい。
●長期間使用しない場合は、電池を取り出して下さい。
●電池交換時は、すべて新しい電池とお取り替え下さい。
●電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れて下さい。

分解禁止 分解したり改造しないで下さい。故障の原因になります。

Q & A ※お問い合わせいただく前に、一度お試しください。

Q 受信できてもテレビラジオ、電話の時報サービスと一致しない。
A まれに誤受信や時計の修正タイミングにより、一致しないことがあります。対策1. 1秒くらいの進み、遅れの場合は、そのままでも後に自動修正されますが、すぐに修正したいときは強制受信ボタンを押して下さい。

Q 今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
A 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波（送信停止）することがあります。

電波時計ご使用上の注意

次のような場所では受信できない場合があります。

使用場所

●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●ビルの地下など
●電化製品やOA機器の近く
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。



お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■使用場所について

下記の様な場所では使用しないで下さい。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
●温度が+40℃(40度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が0℃(0度)以下になる所。
（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
●ほこりが多く発生する所。
（空気中のちり等が機械部にたまり、時計が止まることがあります。）
●テレビ、OA機器、オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁気の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。）
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●浴室など、湿度の多い所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。
（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

●汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤や石鹸水を、柔らかい布に少量つけて拭き取り、その後、乾拭きして下さい。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、みがき粉、洗剤等は、使用しないで下さい。
●掛時計を壁面に掛けた場合、ケース等の静電気で壁面が汚れる恐れがありますので、定期的に汚れを落として下さい。

製造・販売元 **Lemnos, Inc.** 株式会社タカタレムノス www.lemnos.jp info@lemnos.jp

本社： ☎ 933-0957 富山県高岡市早川5 1 1 tel: 0766-24-5731 fax: 0766-22-8071
東京： ☎ 152-0035 東京都目黒区自由が丘 1-15-17 ピラ自由が丘 2 0 1 tel: 03-5701-8461 fax: 03-5701-8481